



消費生活セミナーで1月に開催される「くらしの講座」より、思考や空間など暮らしの整理をサポートするライフオーガナイザー®の吉田 由香利さんに、『今日から始める実家の片づけ～親の持ち物とその思い～』についてご紹介いただきました。

物を持つところについて

今、実家の片づけがとても注目されています。世代交代の際に大変な思いをしたくない、また、させたくないという思いから、今から整理をするのです。実家に暮らし親の暮らしが安全で安心なものになるように片づけを進めていただきたいものです。

ただ、「暮らし方」というのは人それぞれです。何を必要として、何を持つのかということとは、自分が決めることです。まず、自分自身のこれからの暮らし方や何を大事にしたいのかを考えてみましょう。そうすることで自分が必要とする物、持ちたい物がわかります。

親と子の思い

そうは言っても年齢を重ねると所有する物は増えてしまいがちです。もう必要ないとわかっていてもなかなか手放すことが難しいのです。それはなぜでしょう。

「…まだ新しいから」「…高価だったから」「…いつか使うかもしれないから」など様々な理由があります。

特に戦後の厳しい時代を経験された世代のみなさんにとって、物を大切にしたいと思うことは当たり前かもしれません。その中には、暮らしに必要な物もあれば、そうでない物もあります。

実は物を持つということは、ただ単に物としてだけではなく、好きとか大切にしたいという感情やあの時あの人からも

らったというような思い出に変わっているのです。持っているのは「物」でもあり、「思い」でもあるのです。

ある方が、以前から実家の食器棚にずらりと並んだプリン空き容器がとても気になっていたそうです。使うわけでもないようなので黙って処分したところ、お母さんはとても悲しまれ勝手に処分した娘さんを責めました。

実はそれは、亡くなられたご主人と、まだ小さかったお孫さんたちが一緒に食べた時のカップだったそうです。お母さんにとっては単なる空き容器ではなく、家族と楽しい時間を過ごした思い出だったのです。

子どもの立場として、親の暮らしをどのように考えたらいいのでしょうか。また、親自身がこれからどうしたらいいのでしょうか。決して物を持たないことだけが良いわけではありません。これからの暮らしの為に何を持つか、何をもちたいのか、それが大切なのです。

そんなことを、ぜひ親子で話し合っ、一緒に考えてください。

くらしの講座【生活設計】 福井県消費生活センター委託事業 消費生活セミナー

今日から始める実家の片づけ～親の持ち物とその思い～

親にはいつまでも元気で暮らしてほしいと思うのは誰しも同じです。しかし、親子であっても、モノコトの思いは同じとは限らないことを理解していますか？親が安心して安全に、健康に暮らせる環境を整えるための片づけのポイントを学習します。

時 所 1/19(金) 13:30～15:00

プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1) 定 25人(申込先着順)

1/20(土) 13:30～15:00

ユー・アイふくい 301・302(福井市下六条町14-1) 定 50人(申込先着順)

無料 講 マスターライフオーガナイザー® 吉田 由香利氏

対 テーマに関心のある福井県民 締 各日の前日まで

申 (公社)ふくい・くらしの研究所 TEL:0776-52-0626

連携: 福井ライフ・アカデミー
※本講座は、福井県消費生活センターからの受託により、(公社)ふくい・くらしの研究所が企画・運営しています。

PROFILE



マスターライフ
オーガナイザー®
吉田 由香利さん

「自分らしい心地いい暮らし」をテーマに、各種セミナーや個別サポートを行っている。県民せいきょうLPA(ライフプランアドバイザー)の会でも活動中。ファイナンシャル・プランナー®(CFP) アクティブ・ペアレントィングリーダー